



會務報告

第 29 卷 第 12 號 昭和 18 年 12 月

役員會

第 10 回理事會 (昭. 18. 10. 18.)

出席者： 黒河内會長，鈴木副會長，瀧淵理事外 4 名
中村書記長，小野寺庶務主任外 2 名

報告

1. 華北支部役員異動
2. 日本工學會評議員會記事

議事

1. 春陽堂發行「科學技術」と土木學會誌交換の件は保留
2. 上海經濟調查研究所へ調査研究資料寄贈の件は保留
3. 建設機械研究委員會委員に野瀬正儀君，川村満雄君を依屬することとせり
4. 昭和 17 年潮害調査委員會委員に次の諸君を依屬することとせり

委員	兼重	信雄	高野	務君
特別委員	長濱	時雄	山口	徳兵衛君
	竹内	常八	田沼	賀君
	金津	尙一	田中	弘顯君
	西村	正人	高村	千代作君
	河村	協君	飯田	一實君
	後藤	季總	大野	臺助君
	西部	友春	江口	辰五郎君

5. 昭和 18 年 7 月及 9 月四國，中國及九州地方に起りたる風水害の調査を行ふため昭和 18 年西部地方風水害調査委員會を設置して委員長に金古久次君を依屬し委員の選定を委員長に一任することとせり，以上の外日本工學會主催の戦利兵器見學者人選の件清水本之助君提出の国土防衛充實に關する意見書の件に就き協議せり

第 11 回理事會 (昭. 18. 10. 21.)

出席者： 黒河内會長，鈴木副會長，瀧淵理事外 4 名，青山戦時規格委員會委員長，田中戦時規格委員會特別委員長，中村書記長，小野寺庶務主任外 2 名

議事

1. 科學技術審議會より委屬ありたる戦時規格案作成に關し本會戦時規格委員會に於て特別委員會を設け

慎重審議の結果成案を得て本日委員長より別紙(省略)の通り答申案の報告ありたり，依て更に本案に對する審議を行ひ原案を承認し答申することとせり。

第 12 回理事會 (昭. 18. 11. 8.)

出席者： 黒河内會長，瀧淵理事外 4 名，中村書記長，小野寺庶務主任外 1 名

報告

1. 朝鮮支部第 4 回總會議事
2. 關西支部土木工學研究會記事
3. 東北支部役員異動
4. 日本工學會主催の兵器見學中止

議事

1. 昭和 17 年潮害調査委員會特別委員に佐分利三雄君，堀清君を追加依屬することとせり
2. 規格番號調査委員會委員に次の諸君を追加依屬することとせり

星野陽一君 村山朔郎君 草間康二君
高野務君 山内一郎君 東壽君

3. 土木學會朝鮮支部長に清水幸次郎君當選せられたるに付依屬することとせり
4. 日本機械，熔接兩學會主催の被覆熔接棒の戦時對策に關する座談會へ本會より青木楠男君に出席を依頼することとせり
5. 入退會を別記の通り承認

編輯部記事

第 10 回會誌編輯委員會 (昭. 18. 11. 4.)

出席者： 福田委員長，東，岡本，杉戸，須之内，丹羽，藤森，星野，本間，最上各委員，村上編輯主任，鈴木，内村各囑託，上田編輯書記

1. 第 29 卷第 10 號登載原稿謝禮決定の件
2. 原稿審査報告及第 30 卷第 1 號登載原稿決定の件
3. 第 29 卷第 10 號登載論文の討議依頼先決定の件

調査部記事

第 2 回戦時規格委員會 (昭. 18. 10. 25.)

出席者： 青山委員長，田中特別委員長，吉田委員外

5名、佐藤、平井兩幹事、逸見、村上各事務幹事、中村書記長、小野寺庶務主任

1. 青山委員長より戦時規格特別委員会にて作製されたる答申書の一般的説明あり、田中特別委員長より同案の細部の説明ありたり

2. 戦時規格委員会の今後の運営方針に就き意見の交換を行ひたり

第1回鳥取地震調査委員会(昭. 18. 10. 13.)

出席者: 吉田委員長、内山委員外9名、林幹事、黒河内會長、中村書記長、小野寺庶務主任

協議事項

1. 黒河内會長より本委員会設置の趣旨を説明、次で吉田委員長より本委員会の調査方針に就て希望を述べ終て各委員より震害の状況に就き下記報告を行ひたり

- (1) 松尾委員 震源地並に被害の多かりし原因等の概要
- (2) 内山委員 鐵道、水道、道路、河川等の総合的被害概況
- (3) 杉戸委員 上水道の被害並に復舊概要
- (4) 高田委員 地質關係
- (5) 堀越委員 鳥取地方に於ける震害に鑑みての鐵道工事の根本對策
- (6) 根來委員 鐵道關係の被害狀況
- (7) 水谷委員 河川、橋梁等の被害並に復舊概要
- (8) 櫻井委員 防災より見たる道路、建物、水利等の對策
- (9) 鈴木委員 昭和8年水害當時の橋梁其他土木工事を對照としたる震害の攻究

2. 各委員より次回委員会迄に被害の調査報告並に土木工學的研究意見を持寄り之を平井委員及林幹事に於て取纏め整理することとせり

3. 本調査は大體4回位の會合により完結し會長に報告する豫定にて進行することとせり。

第2回鳥取地震調査委員会(昭. 18. 10. 20.)

出席者: 吉田委員長、内山委員外6名、林幹事、信澤調査部長、中村書記長、小野寺庶務主任

協議事項

1. 前回の申合せに依り全委員より被害の狀況、對策等に就き調書の提出あり、委員長より出席各委員の調査に依る具體的説明を求め質疑應答を行ひたり

2. 各委員より提出せられたる調書は一應委員長並に平井委員及林幹事に於て適當に取纏め原案を作成し

て次回委員会に提示し検討を行ふこととせり

第3回鳥取地震調査委員会(昭. 18. 10. 27.)

出席者: 吉田委員長、内山委員外7名、小野寺庶務主任

協議事項

1. 各委員より提出せられたる調査報告を整理作成したる原案別冊(省略)に對し審議を行ひ更に次回委員会に於て各委員の意見を持寄り決定案を作成することとせり

第4回鳥取地震調査委員会(昭. 18. 11. 2.)

出席者: 吉田委員長、内山委員外7名、林幹事、中村書記長、小野寺庶務主任

協議事項

1. 前回は引續き配布せる調査報告原案に對する審議を行ひたる結果、出席各委員の意見を綜合修正案を作成して之を全委員に送附し、最後の意見を求め決定案を作成することとせり

第4回昭和17年潮害調査委員会(昭. 18. 10. 15.)

出席者: 金子委員長、青木副委員長、水谷委員外5名、石井幹事、小野寺庶務主任

協議事項

1. 調査方針に就き協議し別表(省略)に依り關係地方の特別委員に調査報告の提出方を依頼することとせり。

東 亞 部 記 事

大東亞建設調査委員会講演會(昭. 18. 11. 10.)

出席者: 黒河内會長、岡野委員外20名、中村書記長、小野寺庶務主任外3名

南方前線に於ける土木施設に就て内務技師藤森謙一君の視察談を拜聴せり

關 西 支 部 記 事

第14回土木工學研究會(昭. 18. 10. 11—13)

講 師 (1) 戦時下の土木工學材料

工學博士 青木楠男君

(2) 偽裝の研究 工學博士 星野昌一君

(3) 土木工學の機械化 工學士 柴田辰之進君

聽講者 延 1454 名

東北支部記事

役員異動

幹事退任 門澤利三君 松本憲司君
新任 伊藤鍊次郎君 大谷 英君

朝鮮支部記事

第4回支部總會(昭. 18. 10. 16.)

議 事

- 1. 會務及會計報告
2. 支部長選舉 當選 清水幸次君
3. 評議員選舉 新任 山岡敬介君 岩永彌榮君
安宅 勝君 今泉茂松君 田寺元治君 樟本
秀樹君 清水篤麿君 伊藤文雄君

議事終了後講演と映畫の會及懇親會を催したり

講演: ビルマを視察して 平井邦次君

遼河及松花江の流砂に就て 永井莊七郎君

映畫: 燒夷彈其他

出席者: 約 100 名

秋季見學會(昭. 18. 10. 17.)

見學箇所: 京城飛行場, 自動車専用道路, 京畿道工
業用水源池, 漢江鐵道橋架橋工事

參加者: 60 名

そ の 他 記 事

土木學會誌第 29 卷第 -11 號を發行成規の手續を了
し全員に配布せり

入 會 及 轉 格 會 員

特 別 會 員 (入 會)

Table with 3 columns: Organization, Member Name, Grade. Includes 協志商會, 臺灣セメント株式會社, 社團法人臺灣土木建築協會, 日本鋪道株式會社臺北支店, 東臺灣電力株式會社, 株式會社西松組京城支店.

正 會 員 (入 會)

Table with 2 columns: Member Name, Grade. Includes 磯崎義演, 王志超, 木坂方美, 小林實, 竹内環, 辰巳造, 永清惠, 松山隆三, 森元一, 柳澤昂, 山口飛六.

准 會 員 (入 會)

Table with 2 columns: Member Name, Grade. Includes 赤間志雨, 宮高知, 石野耕作, 岩崎博, 梅木忠一, 小栗善雄, 大隅榮治, 大日向敬三, 加藤茂芳, 片岡繁喜, 梅工藤正, 久保清次, 久留景巨, 熊崎靜一, 小金丸義雄, 阪口誠一, 庄司三郎, 庄野一, 城辰雄, 白鳥三平, 鈴木基夫, 詹其昌, 武内武, 中島富三郎, 中野龜代, 廣田勇, 福住孝雄, 福原勝藏, 藤河東, 藤谷虎一, 船越晋太郎, 松原壽雄, 室民二, 森野久明, 山和, 山根亭一郎, 山本明, 横尾義貫, 林靖, 梅田, 和, 小川貞彦, 大内勸助, 小池泰道.

學生會員 (入會)

男夫健清通郎男雄稔陸
 俊孝 太録政
 田子山木田井川路田内
 岩金高鈴豊花前山吉宮
 正雄勇次郎守夫平磨涼
 守文 孫三 川久開銀
 藤山鳥浦榮谷川崎田島
 伊片兒杉富長細山吉中
 賀夫之城一吾潘夫詔一治
 藤 迪信幸正周茂 榮英
 藤羽林野井谷慶本田根
 伊笠小神告長庸森吉關菅
 男夫文彌淳清樹夫夫直繁
 美新芳 正和鋒
 倉藤谷藤橋村岡田木原
 朝加葛佐高野藤村橫鈴小
 武衛男浩夫人則信雄吉義
 銅兵利邦弘靖重政與重
 井忠合藤村間比瀬本藤田
 澗大河佐田野日村山齋安
 澗一良磨松良夫友生孝彦
 浩忠秀德公和好記 隆
 井 飼子藤本山川野下邊 隆
 淺鶴金近關中早水山渡俵

正會員 (轉格)

伊藤鍊次郎 佐藤 肇 國分正胤 芳賀博

准會員 (轉格)

二郎清實昭義夫雄昇夫郎晋造郎雄男治郎榮治貢義宗繁照男碩
 修太 男忠重貞 和八 金一正行勝一光泰賀正
 岩原倍田藤川西谷下田大谷橋摩木倉地場本越須崎本松本羽野
 大菅安池遠及葛納山宮尾澁高詮冬片菊津橋堀濱下岡小谷丹星
 一 一郎忠夫夫郎俊雄夫男治清嵩夫人進夫郎郎夫勳郎實誠雄明
 榮二吉茂勝二 幸康德康 茂久 春文哲哲 太 慎林見田藤
 川池岡藤川野寺善島崎宅黑原橋木施田戶 谷野中端 藤林見田藤
 小小芳伊石小加網山三小篠高角木境長星山川伊小鷹成兵
 夫仁市男雄藏雄雄象三夫守志三夫弘男之晴彌雄脩理也幸良
 三 羽 喜治泰 俊龍富隼浩正 英賢 秀正邦利義善義 仲裕
 浦黑橋伊今小加澤山三板篠田田長山繁佐永淵谷奧淺金高中春
 雄繁彦悅男碩郎藏敬男敏夫弘一一夫巖彦浩司雄稔郎爾彦尙郎
 久 芳榮文 次教 一正恒 主純秀 一 房朝 良利 村 庄
 井 鄉 村東口藤 賢 浦 矢邊崎 田葉田馬野 藤村野卷野 良利 村 庄
 岩北中伊猪遼冲齋三細渡篠添千新門菅佐中平八天青加高中早
 美二夫夫郎夫男郎治二弘明郎典夫黨友郎顯郎郎夫行裕治郎章
 益 敏 憲治 重義滋政雄 義三直說 政次 村 三 二壽正 以 三
 里橋川十井藤友川山田崎 谷市野須吉村 々 村 三 二壽正 以 三
 有大谷五石遠大古松福山彼鳥只那本上佐中原森若安加孫中馬
 郎明憲男順治正正勳一夫夫郎扶次登弘弘一夫夫作互博夫郎五
 善 大 吉 一 慎 榮忠敏二 幸正 俊安武與 敏五 正
 葉野田斐井藤石柳木 田內坂崎橋島井澤地 山木澤澤藤 敏五 正
 秋大應我石遠大小二吉柳逢島高豐町上菊寺昌松米白加篠戶野

一俊保男明武己雄政三輝憲治司朗宏浩博新義二夫貫郎浩豐文彦則朗薰仁治松吉男夫靖次勇郎司昌
 和則國克忠芳潤良幸義敬昌輝耕一田原中田園本島子岡久崎田原橋本田屋
 下穴村柳野深原保井川本本島山野井城本橋谷田藤本四茂光貞哲淺重隆一孝原橋本田屋
 森浮木若石大木久酒中塚松西松天川都橋中長藤遠坂南吉小田橫大坂中眞水吉佐岩窪榊高原松依春
 彦雄和秀遠男久胖一自銘有夫一雄正一二豐三郎敏良壽彦郎賀雄生光人學德雄生稔勳良男門己平人
 五文正三若忠證照榮茂量清英說八四武和一義正俊千義武道知綾嘉克總司
 谷井野堅井二崎藤上界家本澤谷邊田島村邊村井海公藤野近川藤家石妻三坂本根藤井木製場原田安
 水石與士筱大川工坂殿張松西細渡神松野田中廣內近水山浦須山大上土堀松山加今岡佐高馬松山岡
 雄雄雄宏雄敏善一榮一彦延明坦鴻之匡雄二數郎夫夫一勇彬平雄晴生亮敏保夫三郎等雄春潔俊一滋
 岩富利純英信鉉正木與壽正垣原谷勝國勳正一丈進公幸義秋崎孝操喜清篤政正勝有隆
 田藤野梨山西井田々內内井垣原谷原巢石藤井浩井房村添木賀根野村留崎尾內戶龜森堀中屋田田
 水伊大坂秋大笠京佐谷竹綱西藤橫梶鳥仙須直平有國松山茨古山上木津藤松山井池大小關野古山內
 郎太道康彦勇重夫義經昌汪廣己郎和心郎勉德信男讓郎登夫郎夫郎登淳了郎滋則勝昭雄夫家久治平
 二良正嘉隆幸信天利吉太宗一三興利慶寬二久二良圓下之田直木邊南藤林井部本谷淵
 宅田島藤田野藤高本天木中田口英野田西江居生野寬田花岡勸良圓下之田直木邊南藤林井部本谷淵
 三淺大佐秋大貝橘甲朱鈴畑山樋山角園大下土幡淺何松森池片林井木竹萩增百渡阿遠小白南藤森岩
 郎夫彦夫一夫章三雄吳猛郎進寬郎一敏吾茂稔學次弘夫助司孝夫治美勳美治介隆男道克雄郎富一夫
 子文郁和一博正康三田太武正省善忠公之善是浩憲博良正勇茂安弘士三清德敏
 甲木島藤松田平井西月村部田田畑藤代賀井時本谷田孝田本屋上田野場田川邊兼弘村富三澤藤崎
 場青大近赤岩與菊小醉中南山濱村大近八古筒延松大多森淺岡茶井鎌高馬增宮渡吉浦小志七深武岩
 堀青大近赤岩與菊小醉中南山濱村大近八古筒延松大多森淺岡茶井鎌高馬增宮渡吉浦小志七深武岩
 亨博知正晉敏男夫茂炬治一彦善一雄朗造博己夫一三稔賀繁雄久春則生郎義雄稔正一茂義基晴敏典
 良政孝英清清健正三嘉幸孝泰宅達村川栗神本邊崎泉川子田吉田田井山川林村田角山
 屋內粟川松永野村竹山島井瀨村宅田野宅達村川栗神本邊崎泉川子田吉田田井山川林村田角山
 星山小草赤今萩木小杉中島柳西三內河森大伊野細大白宮渡尾玉相鹿島延前溝吉坂梅桑櫻中平三橫

川島池内濱福白谷豊河坂長塙三和石尾坂瀧德西林眞山青岡立藤村脇山	崎田田山井川永野田崎	偉欣俊德俊彌敬權淳貞	志三一郎壽一二二正修潔男康正路平郎明男豐莊志久夫二二雄雄郎	夫也實三一郎壽一二二正修潔男康正路平郎明男豐莊志久夫二二雄雄郎	北神石榎早諸杉谷大河篠二深三會稻加澤竹中野藤眞山飯笠中前山佐赤	原保垣本文川岡本口平野原宮澤澤見藤村下谷藤井達昌稜直充正慶藤澤	正正克之辰重哲芳孝邦正英恒英義元正克育三昌稜直充正慶藤澤	一義夫亟精雄則美男之英明俊文一孝孝晴敏郎三卓郎則潤守郎一一蕪人	葛高今尾林吉關葛逢木豐西藤宮藍今木杉武中萩藤松兩礎神成松谷毛一	生井井崎良江郎策坂山垣澤内川泉勝太山尾澤本川山原田岡口利健二	新潤芳良江郎策坂山垣澤内川泉勝太山尾澤本川山原田岡口利健二	一三平曠一正治也剛植光三司保男一郎吉禮男宏隆郎也三一夫次貢郎	古高今大久渡田辻加古中野邊宮青上久田玉西橋古宮和上坂野宗福山内	賀野泉塚富邊口野戸賀口普熊和英正敬金茂耕八金政光晴裕金	郁野泉塚富邊口野戸賀口普熊和英正敬金茂耕八金政光晴裕金	介功暢忠雄雄策夫勝二夫男燁郎壽則治保一一博三男一郎吾男昭時久一	郷井岩大秀渡高寺笥三中野星山池江熊多土西早星安秋江黃長高筒高國	古出館橋島邊崎田嘉枝井崎井田野谷計井田川原元原中本井山枝	雄令康博敏苑忠一英次光欣洋昌保英幸正實一秀永忠	三彌男亘彦宏一雄郎美勉男二一一宏夫雄滿平己男誠雄國立夫正努雄定	佐伊白乘平有武富上佐中橋松吉石遠近高時西林星柳林大清林福山馬佐	木藤井杉山村石山館藤野本田川藤藤村崎村瀨久野光野場藤	茂定清山忠恒良一啓嘉勝喜又佐美公崎村秀野瀨久野光野場藤	雄雄胤恂章夫勉雄親義吾夫快市郎夫彦武弘雄一晃正雄之勉一七造郎孝
---------------------------------	------------	------------	-------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	---------------------------------	------------------------------	-------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------------------------

土 木 學 會 々 員 數

(昭. 18. 10. 25. 現在)

名譽會員	正會員	准會員	學生會員	特別會員	贊助會員	合 計
4	4657	7300	1948	207	25	14141

正會員 藏重哲三君昭和 18 年 11 月 4 日逝去せられたり

本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

正會員 阿川重郎君, 井山安藏君, 稻垣兵太郎君, 加藤準一君, 清水 烈君,
本多憲千代君, 松本弘毅君の訃報に接す 本會は恭しく哀悼の意を
表す

准會員 相場竹三郎君戰死せられたり 本會は靈前に弔詞を呈し恭しく哀悼の
意を表したり

准會員 多田秀士君昭和 18 年 4 月南方に於て戰死せられたり 本會は靈前
に弔詞を呈し恭しく哀悼の意を表したり

准會員 高橋八重男君, 中西幸男君, 矢ヶ部正治君の訃報に接す 本會は恭し
く哀悼の意を表す

既刊會誌殘部内譯

(昭. 18. 12. 現在)

(* は残部有るものを示す)

巻 號	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	金額 (1 部) (円)
6	—	—	—	—	—	*	—	—	—	—	—	—	2.00
7	—	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
8	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
9	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
10	—	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
11	—	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
12	—	*	*	—	*	—	—	—	—	—	—	—	2.00
13	—	*	*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.00
14	—	*	*	*	*	*	—	—	—	—	—	—	2.00
15	*	*	*	*	*	*	—	*	*	*	*	*	1.00
16	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
17	*	*	*	*	*	—	*	*	—	—	*	—	1.00
18	—	—	—	—	*	*	*	*	—	—	—	—	1.00
19	*	*	*	—	*	*	—	*	*	*	—	*	1.00
20	—	—	*	—	—	—	—	*	—	—	—	—	1.00
21	—	—	*	*	—	—	*	—	*	—	—	—	1.00
22	—	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1.00
23	—	*	—	*	—	—	—	*	*	*	—	*	1.00
24	*	*	—	*	—	—	—	*	*	—	—	—	1.00
25	—	*	—	—	—	—	*	—	*	—	—	—	1.00
26	—	*	—	*	—	—	*	—	*	*	*	*	1.00
27	—	*	*	—	—	*	*	*	*	*	*	*	1.00
28	—	*	*	—	—	—	*	*	*	*	*	*	1.00
29	—	—	—	—	—	*	*	—	*	*	*	—	1.00
第 21 卷第 7 號 (會誌索引付)													1.30
大正十二年關東大地震震害調査報告書 (1, 2, 3)													18.00
鐵筋コンクリート標準示方書]													1.20
同上 解 說]													1.20
土木工學論文抄録第一輯													3.50
土木工學論文抄録第二輯													5.00
土木學會誌索引 (第 1 卷第 1 號 ~ 第 20 卷第 13 號) ..													0.50
土木工學用語彙													2.50

上記殘部會誌其の他の刊行物御希望の場合は所定金額を振替口座東京 16328 番にお辨込み下さい。